

2016年3月期 中間決算説明会

2015年11月11日
株式会社バイ・テクノロジー
代表取締役社長 杉本重人

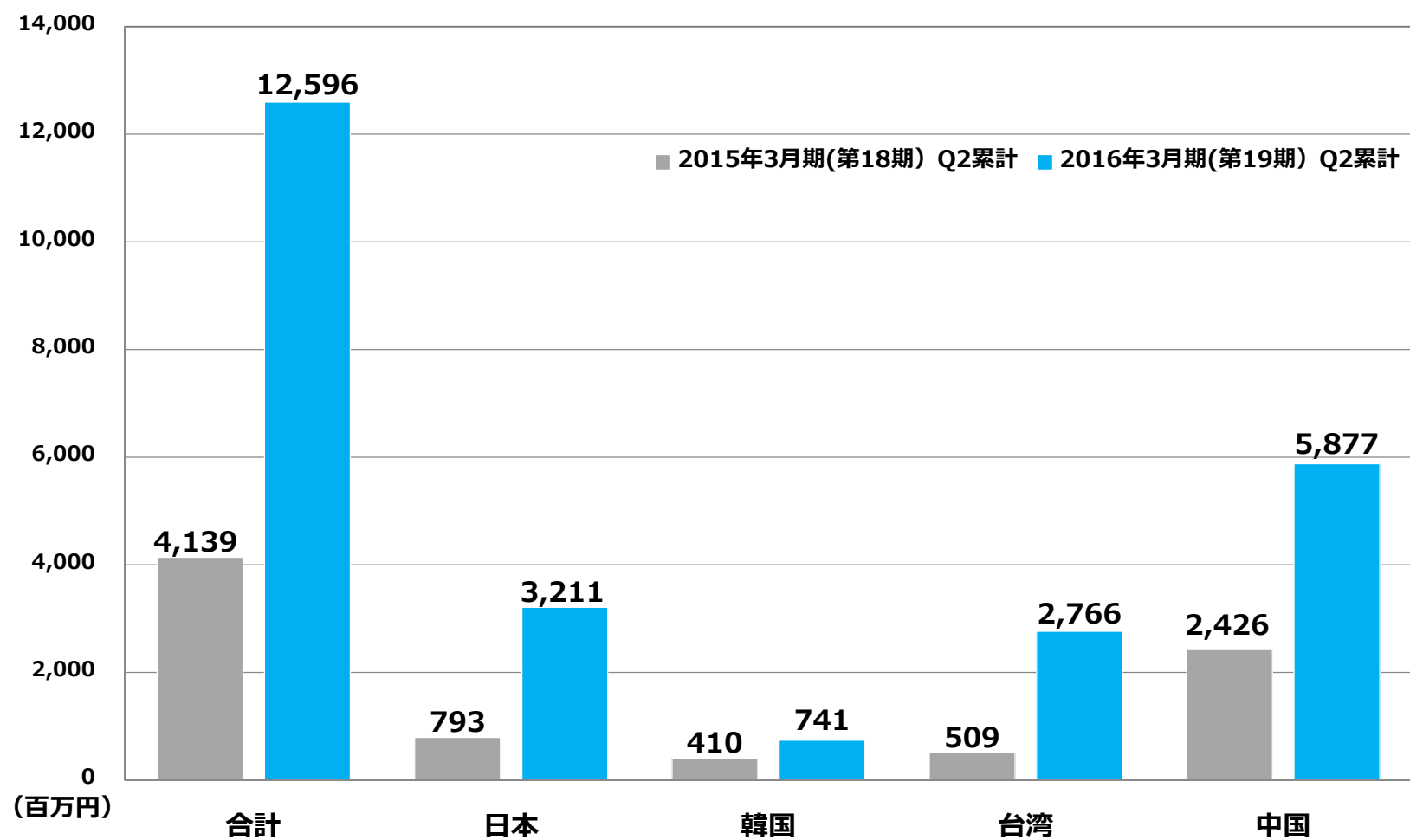
決算概要

本資料における甲の業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含む。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる可能性もございますので、ご了承ください。

連結業績ハイライト（前期比）

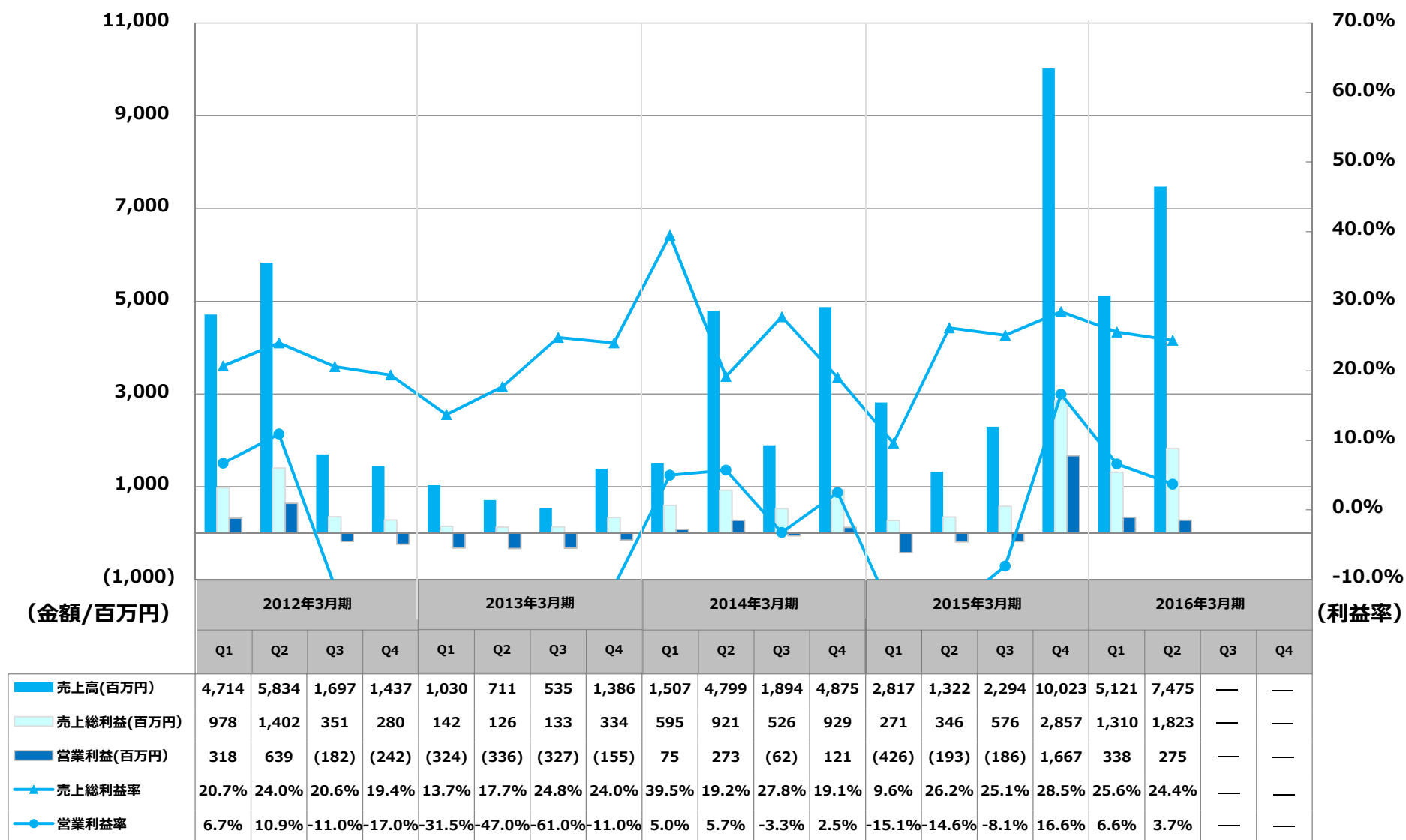
	2015年3月期（第18期） Q2累計期間		2016年3月期（第19期） Q2累計期間		増減率
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	
売上高	4,139	100.0%	12,596	100.0%	204.3%
売上総利益	617	14.9%	3,078	24.4%	398.9%
営業利益又は営業損失（▲）	▲619	—	607	4.8%	—
経常利益又は経常損失（▲）	▲564	—	539	4.3%	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（▲）	▲321	—	322	2.6%	—

地域別連結売上高（前期比）*

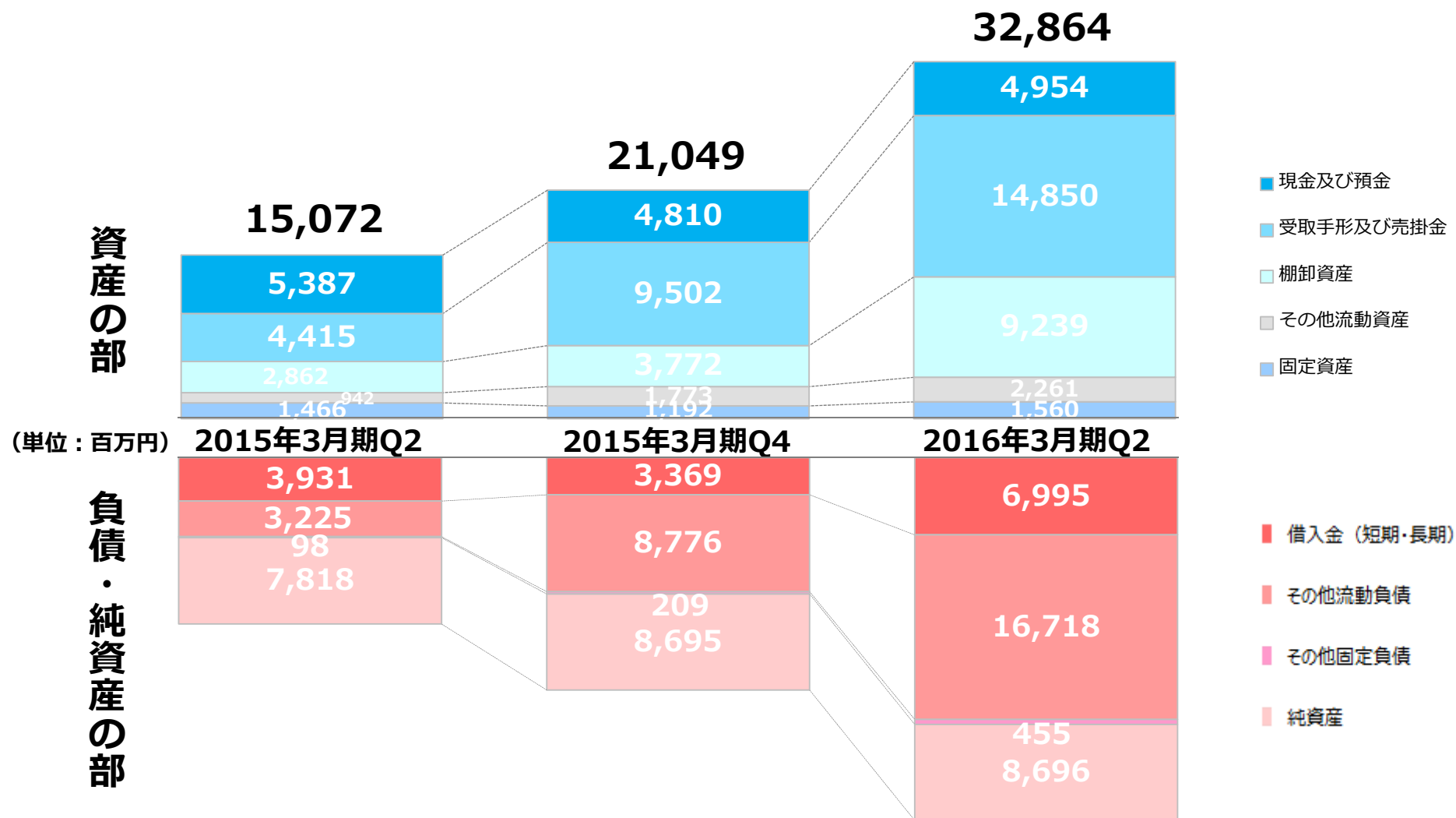


*地域別売上高計上方法の変更：当中間決算より納品先の国籍別から投資判断を行う本社所在地別に変更。

四半期毎連結売上高・利益の推移



連結貸借対照表の推移

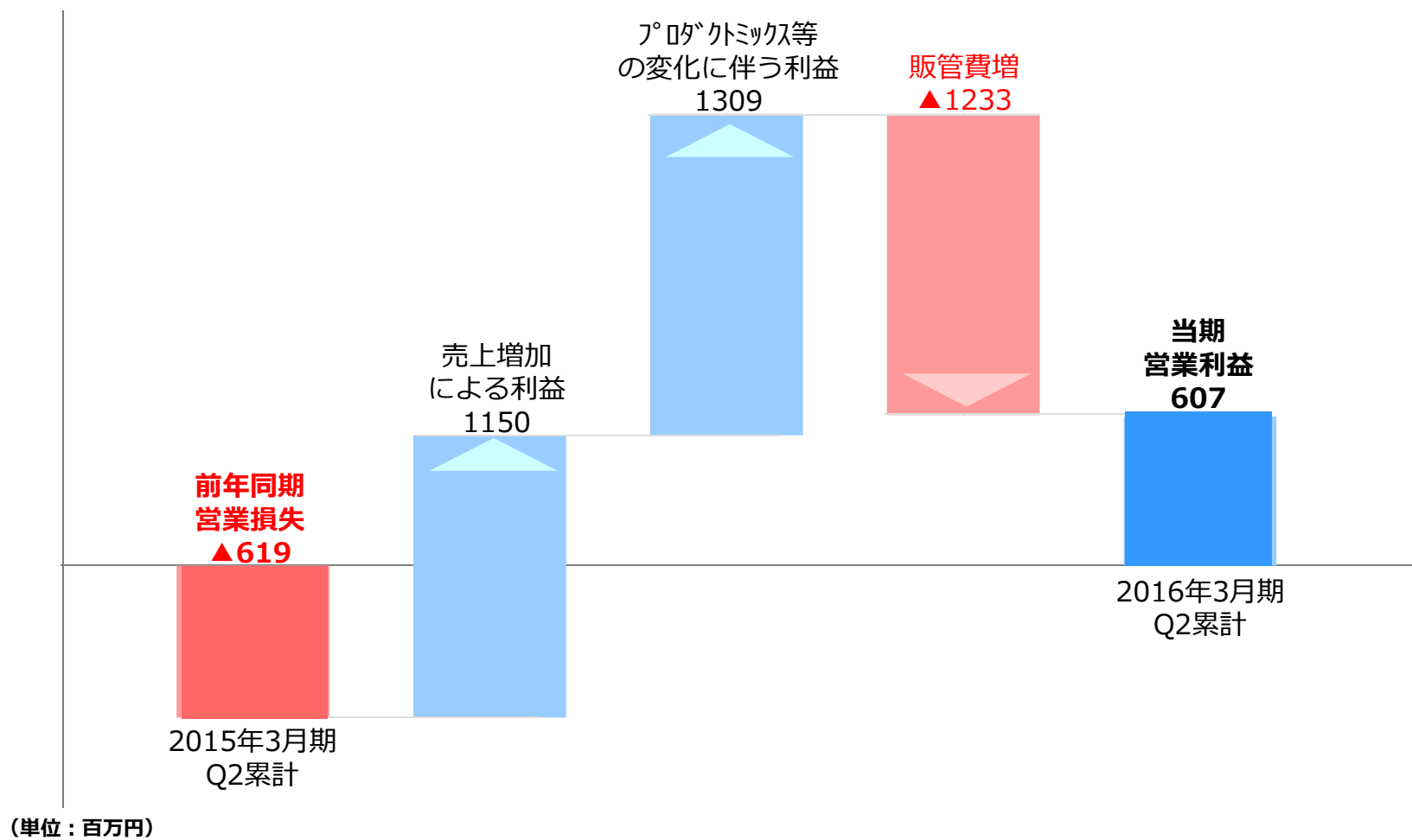


連結キャッシュフローの推移

		2015年3月期 Q2累計期間	2015年3月期 Q4累計期間	2016年3月期 Q2累計期間
期首現金及び現金同等物残高		4,539	4,539	4,375
営業活動による キャッシュフロー	税金調整前純利益/損失	▲460	1,065	529
	売上債権 (増加▲)	1,750	▲3,300	▲827
	棚卸資産 (増加▲)	▲424	▲1,285	▲3,048
	仕入債務 (減少▲)	▲781	3,088	520
	その他	▲340	192	2,620
	Total	▲305	▲240	▲206
投資活動によるキャッシュフロー Total		▲54	▲82	▲643
財務活動による キャッシュフロー	借入	1,940	3,469	5,560
	返済	▲1,280	▲3,372	▲4,333
	その他	32	▲47	▲51
	Total	692	50	1,176
現金及び現金同等物に関わる換算差額		100	108	▲48
現金及び現金同等物の増減核 (減少▲)		433	▲163	277
四半期末現金及び現金同等物残高		4,972	4,375	4,653

(単位：百万円)

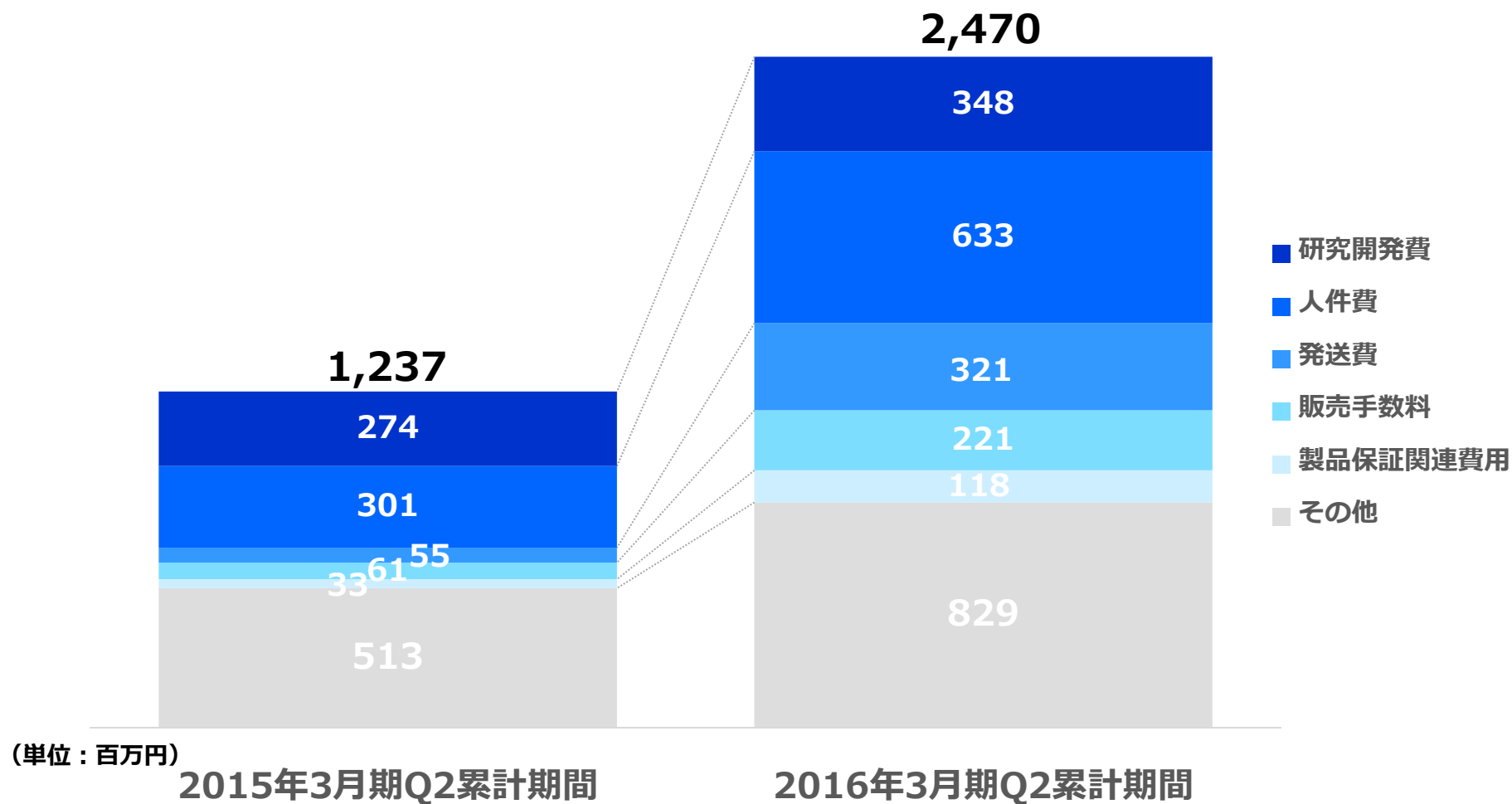
連結営業利益の差異分析



販売費及び一般管理費

販管費増加の主な要因：

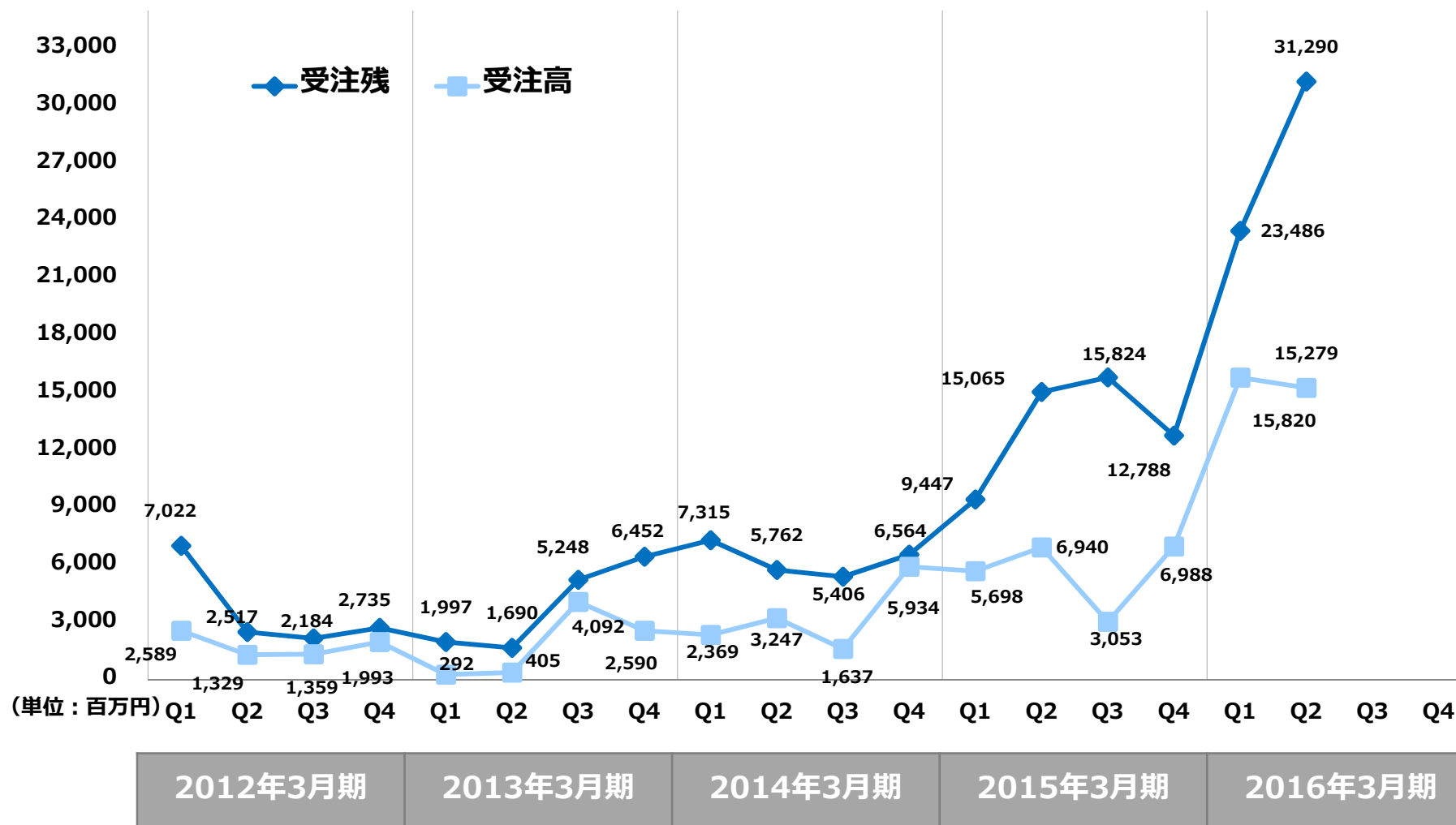
V Nシステムズ連結による人件費の増加／大型装置販売台数増による発送費の増加／販売額増加による販売手数料の増加。



四半期毎連結受注残・受注額の推移

Q2累計受注額、受注残共に過去最高額を突破。

11月には、海外大手パネルメーカー向けにCF露光装置1式を約70億円で受注。



業績見通し

事業環境に鑑み業績見通しを上方修正。

現地生産初期ロット製品の改善等にかかる一時的なコストも併せて計上。

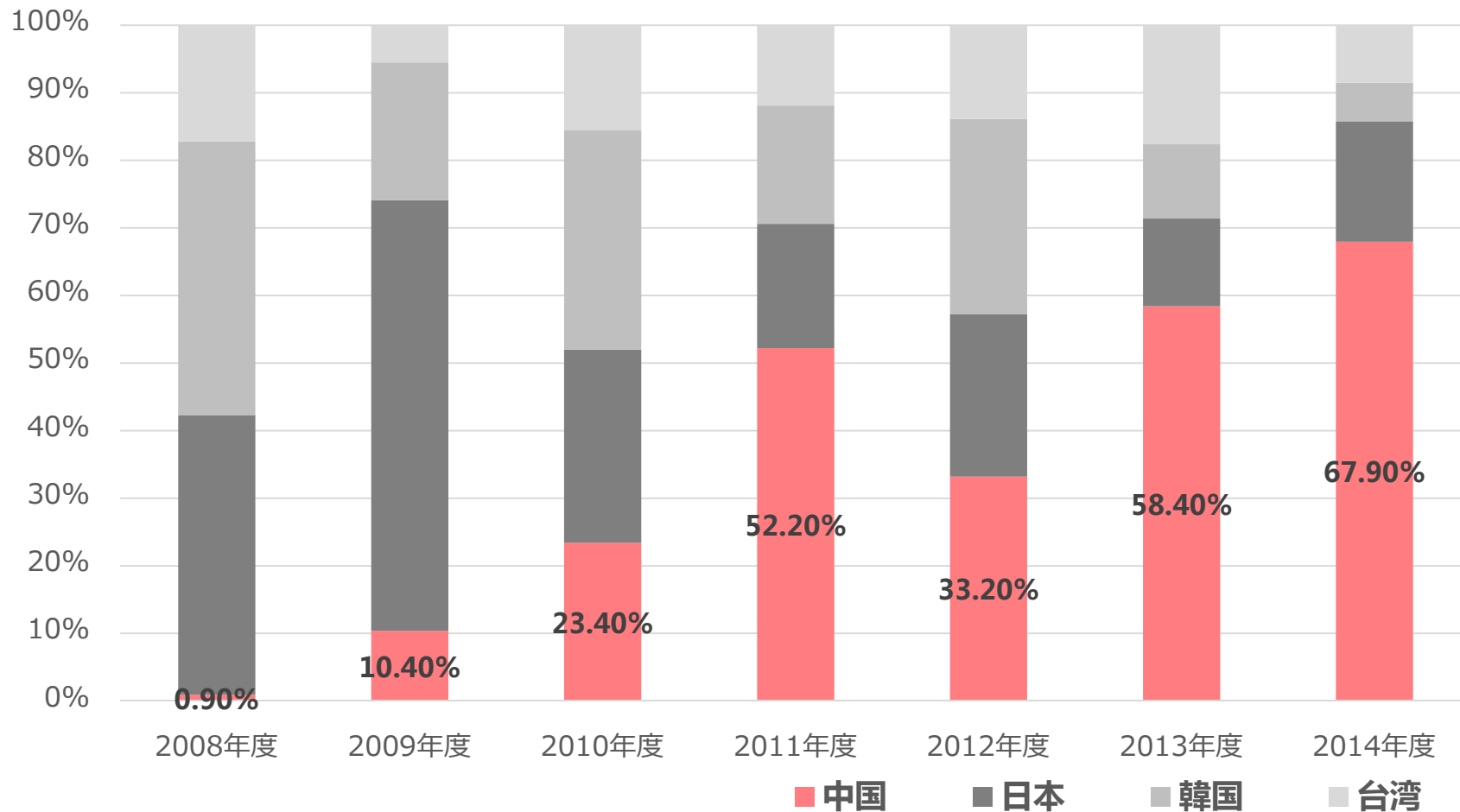
	2015年3月期実績 (A)		2016年3月期見通し (5月、B)		2016年3月期見通し (11月、B')		増減率 A-B' B-B'
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	
売上高	16,456	100.0%	26,000	100.0%	30,000	100.0%	82.3% 15.3%
営業利益	862	5.2%	2,000	7.7%	2,200	7.3%	155.2% 10.0%
経常利益	1,053	6.4%	1,850	7.1%	2,030	6.8%	92.8% 9.7%
親会社株主に帰属する四 半期純利益	533	3.2%	950	3.7%	1,040	3.5%	95.1% 9.5%

製販体制の再構築

地域別販売額推移

2016年3月期、当社中国向けは70%を超える見通し。

→中国における製造、販売体制の見直しが必要。



(グラフ) 当社地域別売上高推移

新設する3社に業務を集約

V Technology 昆山：現地生産推進、省力化ソリューション提供、R&D、現地サービス拠点として。

VETON（香港/上海）：営業窓口一本化による情報集約。営業力強化と効率性の向上。

VN Systems 上海：上海VTを廃し、昆山に移管。CF露光装置のサービスメンテナンス強化の拠点に。



図：中国における製造・販売体制（2015年12月以降）

昆山微铁克光电设备有限公司 (Kunshan V Technology Co., Ltd.)

設立目的/役割：

物流コストが高む大型ガラス基板対応の装置を現地生産し、コスト競争力強化。
現地人件費高騰を背景としたFPD製造プロセスの合理化・省力化ニーズに対応。
現地ニーズに即した製品の研究開発。中国各地に広がる現場の支援センター。



(写真) 開所式テープカット



(写真) 昆山事務所

設立目的：

VETONに営業活動を集約し連携を緊密化・迅速化。効率性の高い販売体制を構築し営業力を強化し事業拡大を図るもの。

